

Nursing Now キャンペーンについて

1 Nursing Now について

- Nursing Now は、看護職への関心を深め、地位を向上することを目的とした世界的なキャンペーンです。世界保健機関（WHO）と国際看護師協会（ICN）が連携し、Nursing Now キャンペーン理事が運営しています。
- メインテーマ「看護の力で健康な社会を！」を掲げ、ナイチンゲール生誕 200 年となる 2020 年末までキャンペーンを展開します。看護職が持つ可能性を最大限に発揮し、看護職が健康課題への取り組みの中心に立ち、人々の健康向上に貢献するために行動するものです。
- 日本では、日本看護協会と日本看護連盟が「看護の力で健康な社会を！」を掲げ、2019 年 2 月よりキャンペーン活動を開始した。さらに、日本看護協会では、2019 年 5 月に看護系 30 団体で構成される「Nursing Now キャンペーン実行委員会」を厚生労働省と連携して発足させ、日本全国でのキャンペーンの普及に取り組んでいます。
- 鹿児島県看護協会は、鹿児島県看護連盟、鹿児島県助産師会と連携し、鹿児島県におけるキャンペーンの普及に取り組んでいます。

2 主な Nursing Now キャンペーン事業

2020 年度の「看護の日・看護週間」制定 30 周年を記念し広報活動に力を入れるとともに、各職場において「看護の力で健康な社会を！」を目指し、日々の地域包括ケア構築の取組や県民に寄り添う看護活動を推進する。

1) 「看護の日・看護週間」について

- 21 世紀の高齢化社会を支えていくために、看護の心、ケアの心、助け合いの心を、誰にも育むきっかけとすることを目的に 1990 年に制定された。制定以降、現在に至るまで「看護の心をみんなの心に」をメインテーマとして取り組まれてきた。2020 年は制定 30 周年となります。
- 「看護の日（5 月 12 日）」を含む 1 週間を「看護週間」と定め、中央行事が開催されている。鹿児島県では、鹿児島県・県医師会・看護協会の主催による「看護の日記念式典」を開催しています。

【令和 2 年度の看護の日記念式典の内容】

- ・開催日及び開催場所：5 月 14 日（木）かごしま県民交流センター
- ・内容：まちの保健室（健康相談、各種身体計測、進学支援、体験コーナー等）
- ・記念式典：看護業務功労者県知事表彰、「三遊亭圓歌」氏の講演、シンポジウム、抽選会

2) 広報活動

- ナイチンゲール生誕 200 年、看護の日を記念し、看護の心を普及する新聞広告、市電のラッピング等の広告
- 看護職人材確保対策として中学・高校生へのふれあい看護体験、出前授業の実施
- 大型商業施設でのまちの保健室の実施：5月30日（土）
- ポスター、チラシ、広報誌「看護かごしま」、ホームページに Nursing Now コーナー開設

3 事業の全体像

